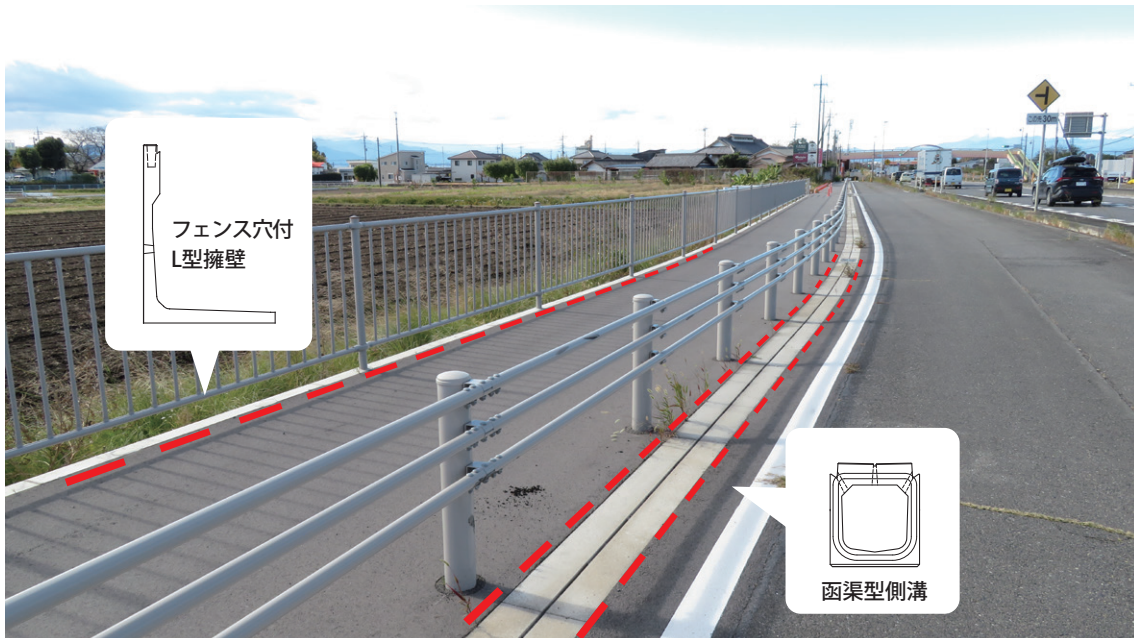


約3年経過後

R4国道50号前橋笠懸道路外環境整備工事(上武道路側道)

2023年3月

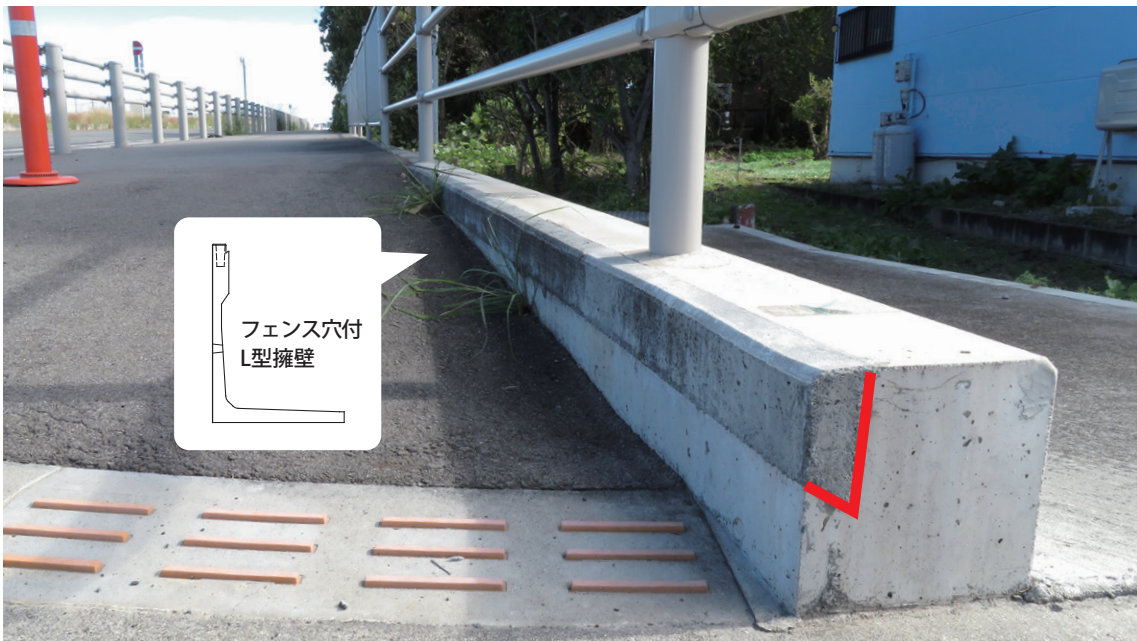


側溝同士の目地部から発生した雑草はあるものの、隣接地が畑で雑草が生えやすい環境であるにもかかわらず、防草機能付きブロックは明らかに雑草の発生を抑制していることが確認できます。

約4年経過後

R3国道50号前橋笠懸道路外環境整備工事(上武道路側道)

2022年3月

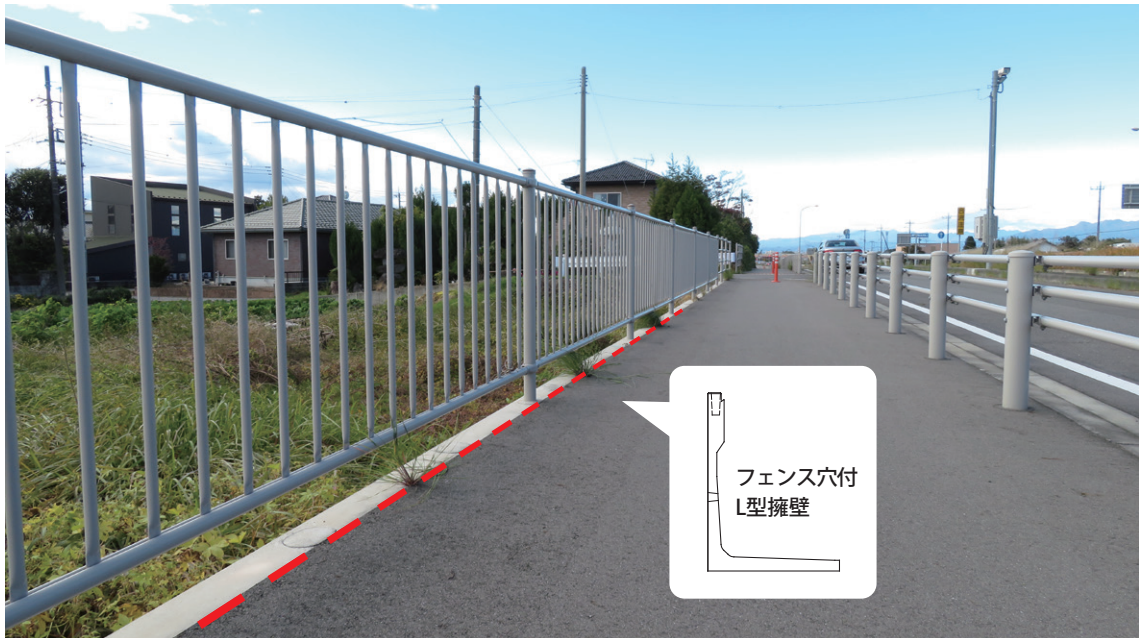


防草機能切り欠き部をモルタルで埋めて、そのまま縁石としています。
切り欠き部がなくなることによって、多少の雑草の発生が認められますが、
奥側の切り欠きがある部分に関しては雑草が抑制されています。

約4年経過後

R3国道50号前橋笠懸道路外環境整備工事(上武道路側道)

2022年3月



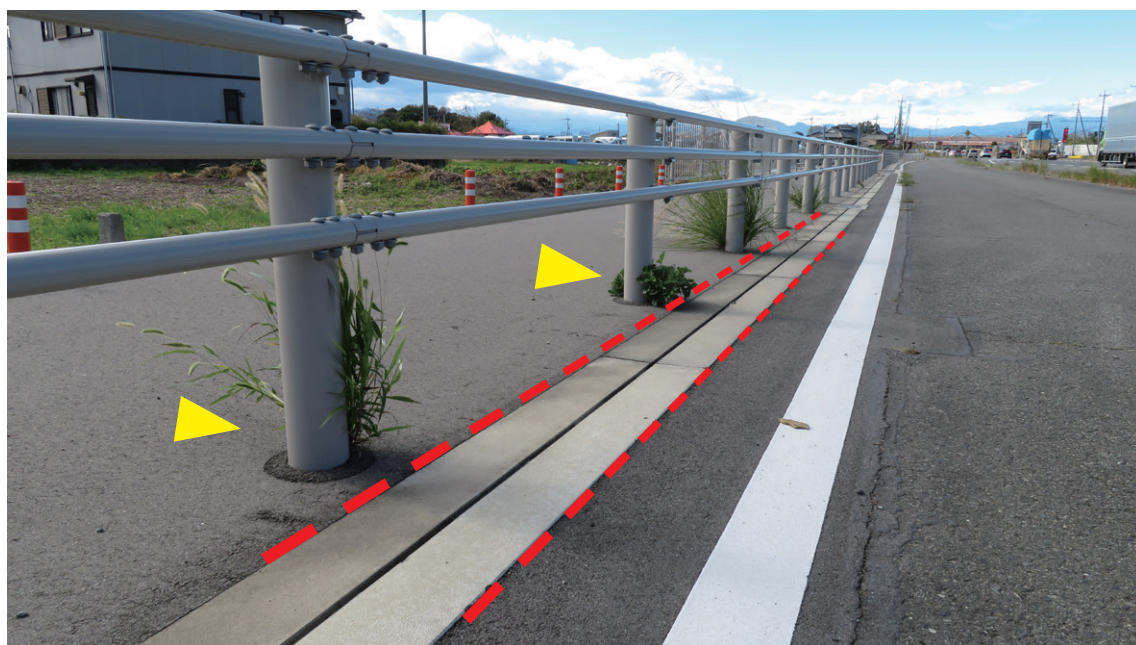
たとえ生えても、枯れるのが早い!

路盤と違い切り欠けに溜まる雨水が蒸発するため、十分な水分補給ができなくなり成長が抑制されます。

約4年経過後

R3国道50号前橋笠懸道路外環境整備工事(上武道路側道)

2022年3月



防護柵の支柱には雑草が生えていますが、防草機能付き函渠型側溝には雑草が生えていません。

3年経過後も、防草切り欠きによる効果が出ていると考えられます。

